

～センターからのお知らせ～

◆Act Against AIDS 2014年エイズ知識啓発ポスターパネル 貸出案内



音楽業界を中心にエイズ啓発活動を行っているAct Against AIDSが制作した最新ポスターのパネル（B2 6枚セット）を貸し出しています。文化祭やイベントでの展示に便利です。くわしくは横浜AIDS市民活動センターのHPでご確認ください。

→ URL <http://www.yaic.gr.jp/>

お問い合わせ：横浜AIDS市民活動センター
TEL 045-650-5421

◆2013年エイズ発生動向(確定値)

厚生労働省エイズ動向委員会が2014年5月23日に発表した報告によると、2013年の日本国内新規HIV感染者報告数は1,106件（過去2番目に多い）、新規エイズ患者報告数は484件（過去最多）、合計1,590件（過去最多）となりました。

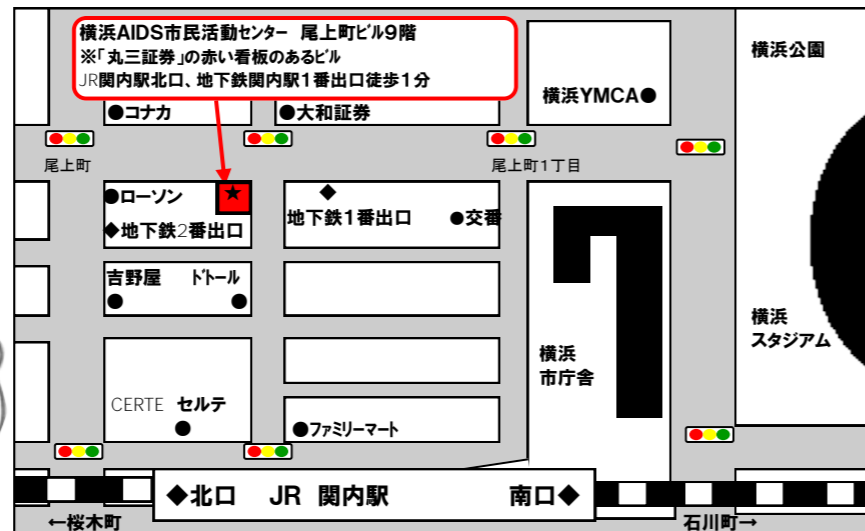
くわしくはエイズ予防情報ネットへGO! → URL <http://api-net.jfap.or.jp/>

◆夏季休館のお知らせ

8月13日（水）～17日（日）は夏季休館です。

◆横浜AIDS市民活動センターへのアクセス

住所：
横浜市中区尾上町3丁目
39番地 尾上町ビル9F
書籍閲覧、研修や活動相談など、夏休みもお気軽にご利用ください！



おーぶん

URL <http://www.yaic.gr.jp/>

発行：横浜AIDS市民活動センター
（運営 公益財団法人横浜YMCA）
〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地
尾上町ビル9F
TEL:045-650-5421/FAX:045-650-5422
E-mail:info@yaic.gr.jp
平日:13:00～20:00/土・祝:10:00～17:00
休館:日/火
監修:横浜市健康福祉局

特集 性の健康を守ろう

心身ともに健康に生きるために大切なこと くわしくは中面へ!



★無料公開講座のお知らせ★

第21回AIDS文化フォーラムin横浜に参加します!

テーマ: アフリカのエイズ～青年海外協力隊員のチャレンジ!

講師：JICA青年海外協力隊OG 東海林美紀さん（現 写真家）
内容：アフリカ・ニジェールでボランティア活動に取り組んできた元青年海外協力隊員からの報告です。現地でのHIV・エイズ対策活動の実際から、現地生活や文化に関する興味深い体験なども交えながらお話しします。ボランティア活動に興味がある方もお気軽にご参加ください!



写真:2013年講座「アフリカのエイズ」の様子

【実施概要】

日時：2014年8月2日（土）10:00～12:00

会場：かながわ県民センター404教室（横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2）

定員：30人 無料・先着順（予約不要）

※教室が変更になる場合があります。最新情報はAIDS文化フォーラムin横浜HPでご確認ください。

【講座に関するお問い合わせ】横浜AIDS市民活動センター

TEL:045-650-5421 FAX:045-650-5422 E-mail:info@yaic.gr.jp

告知:第21回AIDS文化フォーラムin横浜

8月1日(金)～3日(日) かながわ県民センター



写真(左):2013年展示会場「レッドリボンワークショップコーナー」の様子。今年も開催されます!

チラシ(右):今年のテーマ「未来につなぐ新たな船出」がイメージされています!
(デザインはもたいひでのりさん)



くわしくはフォーラムHPへGO! URL: <http://www.yokohamaymca.org/AIDS/>

AIDS文化フォーラム in 横浜

検索

健康に生きる権利

性の健康を守ろう

～心身ともに健康に生きるために大切なこと～

国際社会の取り組み

性の健康を守るためには個人の努力だけでなく社会の取り組みも重要です。

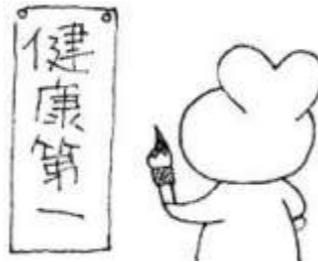
世界保健機関（WHO[*1]）憲章前文の一文・・・

「最高の健康水準を確保することは、人種、宗教、政治的信条、経済状態のいかに関わらず、全ての人間の基本的な権利です。」

つまり・・・

全ての人は **健康に生きる権利を持っている** ということ

ただし、社会環境（医療や教育不足など）や身の回りの状況（貧困、ジェンダーなど）によって、健康に関する情報を得られない人、治療・支援などを受けられずに病気が進行し命を落としてしまう人が世界にはたくさんいます。



[*1]保健衛生に関する国連の専門機関、World Health Organization

性の健康の状況は？

私たちは性についても、健康に生きる権利を持っています。しかし、性に関する知識不足、恋人やパートナーとの対等ではない関係、社会状況などにより、性の健康を守れずにつらい思いを抱える場合があります。

望まない妊娠と人工妊娠中絶

妊娠や避妊に関する正しい知識を知らない、恋人やパートナーが協力をしないなど、様々な理由により起こっています。

発展途上国では、妊娠が原因で通学をあきらめたり、安全ではない出産や中絶などで命を落とす女性がたくさんいます。

(参考:「ミレニアム開発目標 世界から貧しさをなくす8つの方法」64-65頁、「動く→動かす」編、合同出版、2012年)

性暴力や性的虐待

性暴力は被害者の心身や人生に大きな影響を与えます。デートDV（恋人から受ける暴力）も身近で深刻な問題です。

性に関する正しい知識や情報にアクセスできない

思春期の変化や性別の違和感・性的指向などに関する悩みを抱えこんでしまったり、間違った知識・情報にふりまわされたりすることがあります。

HIV・エイズを含む性感染症の広がり

世界3大感染症の1つであるHIV・エイズや性器クラミジア感染症などは身近な問題。

性感染症を放っておくと将来の健康に重大な影響を与えることがあります。

一人ひとりができること

心身ともに健康に生きるために、「性の健康」を守るための知識と行動を身につけましょう！

知識を得る！

★参考書籍を紹介

「15歳までの女の子に伝えたい 自分の体と心の守り方」
(著 やまがたてるえ、かんき出版、2012年)

思春期に変化する体と心、性のトラブル（性感染症、恋人との関係性など）への対応について漫画でわかりやすく解説。

「思春期サバイバル-10代の時って考えることが多くなる気がするわけ。」
(制作 ここから探検隊、はるか書房、2013年)

10代が抱える疑問や悩み（つき合うって何？、これって愛？、携帯の束縛、性的指向など）を一緒に考える本。



センターで読めます♪

行動する！

★先生、家族、友人、恋人と話してみる

正しい知識の共有・交換や多様な価値観を知ることができます。

★困ったときは信頼できる人に相談する

保健室の先生などに相談してみましょ。エイズに関する電話相談もありますよ！福祉保健センターなどの相談先はセンターHPでチェック！
URL: <http://www.yaaic.gr.jp/category/tel-soudan>

★自分で決める勇気を持つ

正しい知識を持ち、自分自身で考えて決めることが大切。あなたの意思を大切にしよう。今だけではなく将来のことも考えていきましょう。